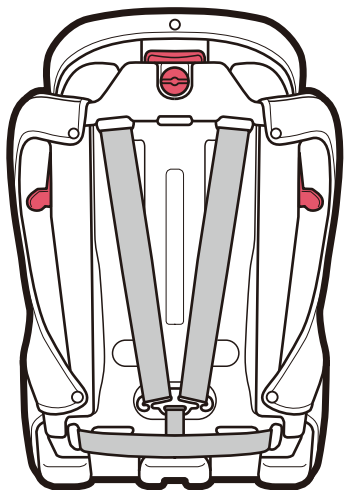


Cradle®

## クレイドル ハーネスジュニアⅡ



企画・販売

**SANSHO**

株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

[www.ca-sansho.co.jp](http://www.ca-sansho.co.jp)

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日 ※弊社休日は除く)

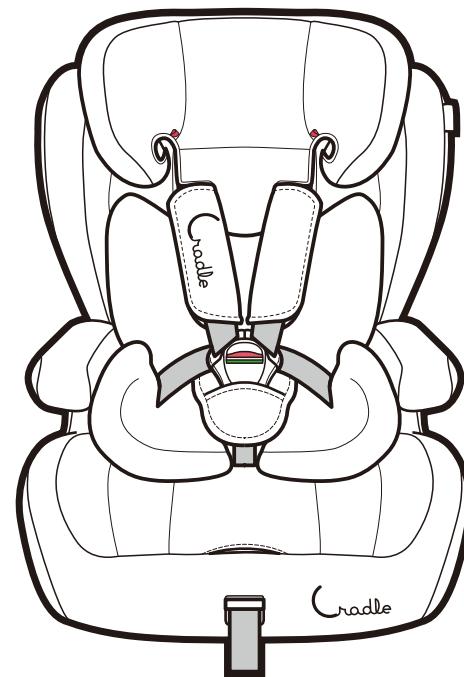
**0120-034-017**

受付時間/AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

# Cradle® クレイドル ハーネスジュニアⅡ

## 取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



ECE R44/04  
UNIVERSAL

9-18kg Y  
15-36kg

E24

040234  
GROUP I, II, III

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

# ご使用になる前に

～安全のため必ずお読みください～

## 本装置について

- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
- 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
- 本装置は、3点式巻取機能付シートベルトを装備している座席のみご使用できます。(2点式シートベルトの座席には使用できません。)

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

## 目次

●ご使用になる前に	1
本装置について	1
ご利用にあたって	2
ご使用いただけるお子様の目安	2
●取り付け可能な車両のシートベルトと取り付け上の注意点	3
取り付けできる3点式シートベルト	3
取り付けできない座席	4
●安全にご使用いただくために	5
●各部の名称	9
●組み立て方	11
●各部の使い方	12
バックル・タンク	12
ヘッドサポート	13
肩ベルト	14
インナークッション	14
●チャイルドシートとしての使い方	15
取り付け方	15
お子様の乗せ方・降ろし方	18
●ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方	20
ご使用になる前に	20
お子様の乗せ方	21
●ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方	22
ご使用になる前に	22
お子様の乗せ方	22
●お手入れのしかた	23
取り外し方	23
取り付け方	24
●保証規定／保証書	26

## ご利用にあたって

### ●本書を読んでいただくためのポイントマークについて…

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。



**警告**

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがある事を記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。



**注意**

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

**補足**

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

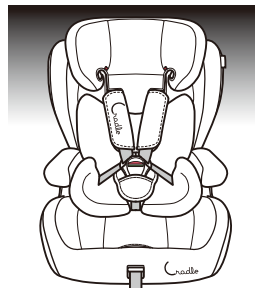
## ご使用いただけるお子様の目安

- 本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用の前にお子様に合った取り付け方を確認し、ご使用ください。

### チャイルドシート

〈グループI〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

**9kg以上18kg以下**

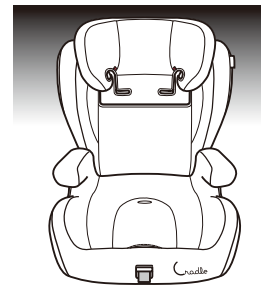
- 年齢の目安: 1才頃～4才頃
- 身長目安: 75～100cm以下

### ジュニアシート

(ハイバックシート)

〈グループII,III〉

本装置のベルトを取り外し、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

**15kg以上36kg以下**

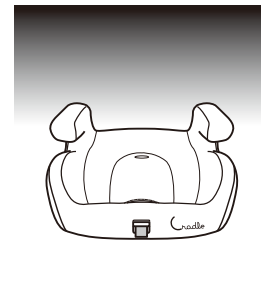
- 年齢の目安: 3才頃～11才頃
- 身長目安: 95～138cm以下

### ジュニアシート

(ブースターシート)

〈グループIII〉

背もたれを取り外し、座のみにして、車両のシートベルトで、お子様を拘束します。



〈適応体重〉

**22kg以上36kg以下**

- 年齢の目安: 6才頃～11才頃
- 身長目安: 110～138cm以下



車両の進行方向に対し、必ず前向きに取り付けてください。(横向きや後ろ向きでは取り付けないでください。)

**補足**

「年齢・身長目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様はご使用いただけません。

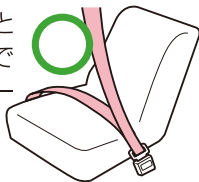
## 取り付け可能な車両のシートベルトと 取り付け上の注意点

必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

2点式シートベルトの座席には、取り付けられません。

### 3点式シートベルト

腰ベルトの左右と  
肩ベルトの3点で  
身体を支えるシー  
トベルト。



### 2点式シートベルト

腰ベルトの左右2  
点で身体を支える  
シートベルト。



## 取り付けできる3点式シートベルト

### ■ELR式シートベルト〈緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

### ■AELR式シートベルト〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

### ■NLR式シートベルト〈非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

### ■ALR式シートベルト〈自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

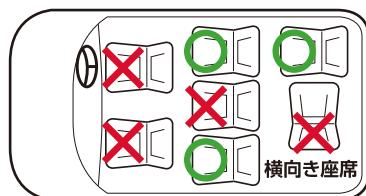
### ■マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

### 取り付け可能箇所

●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、後部左右座席に取り付けてください。

●進行方向に対し、後ろ向き・横向きの座席には取り付けられません。



※必ず弊社「車種別適合表」をご確認ください。 ○取り付け可能 ×取り付け不可

## 取り付けできない座席

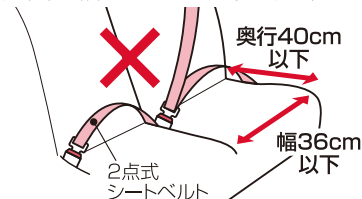
●シートベルトが装備されていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●シートベルトの全長が230cm以下の座席。

●座面の奥行が40cm以下の座席。

●座面の幅が36cm以下の座席。



●助手席には決して取り付けないでください。

●エアバッグが装備されている座席。  
※サイドエアバッグのみの場合は、ご使用いただけます。

●座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストによって固定が不安定になる座席。

※車両座席のヘッドレストを上下に調節したり外すことで取り付け可能になる場合があります。

●受け側のバックルベルトの長さが約15cm以上ある場合、車両のバックルやタングが本装置とあたり、しっかり締め付けができない座席。

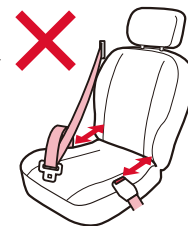


●極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席。または座面の凹凸が大きく、不安定な座席。

●横向きや後ろ向きの座席。

●本装置を使用することにより、緊急時に車両から脱出する際、妨げになる座席。

●車両のバックル、シートベルトが背もたれよりも約10cm以上前に出ている座席。



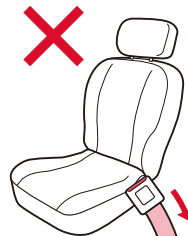
●自動式ショルダールベルト(パッシブシートベルト)※が、装備されている座席。

※ドアを閉めると自動的にシートベルトを装着する機能があるシートベルト。



●腰ベルト、または肩ベルトがドアに取り付けられた座席。

●車両のバックルベルトが巻き取り式シートベルトの座席。



# 安全にご使用いただくために

## 警告

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

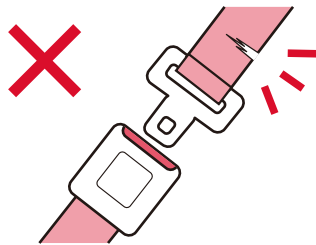
**本装置は、安全な後部座席に取り付けてご使用ください。**

**※安全上、前座席にはご使用いただけません。**

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- 本装置のベルトが緩んだ状態で使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。

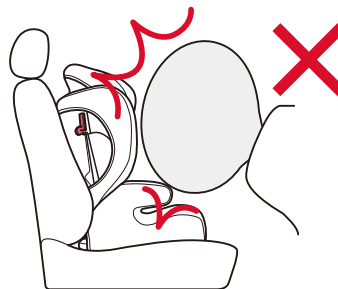


- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



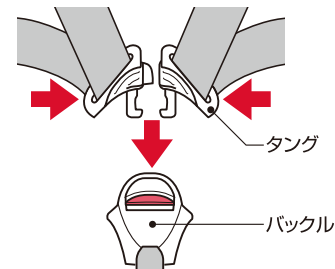
- お子様を本装置に乗せないとき、また車内に置いたまま運転される場合でも、必ず車両のシートベルトで固定してください。急ブレーキや衝突時、運転者や同乗者に傷害を及ぼすおそれがあります。
- お子様がバックルボタンを押してしまうおそれがありますので、時々タングがバックルから外れていないかを確認してください。

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。  
※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。

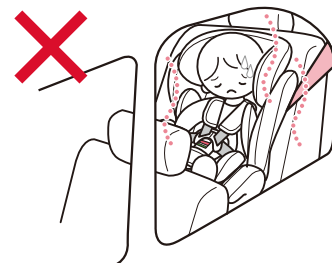


- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対しないでください。
- 本装置を取り付けた後に、車両の座席のリクライニング操作や移動をすると、取り付けが緩む場合がありますので、必ず取り付け状態を確認してください。

- 左右のタングをきちんと重ね合わせてから、バックルに差し込んでください。



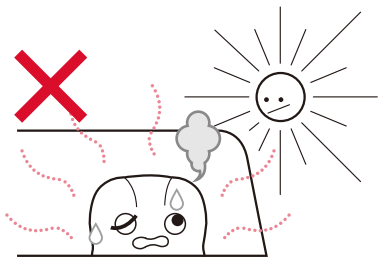
- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- お子様を本装置に乗せたまま、車内にひとりで放置しないでください。予期せぬ事故の原因となる場合がありますので、必ず保護者の方が同乗してください。



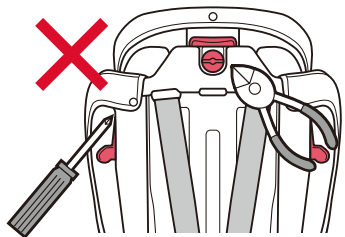
# 安全にご使用いただくために

## 警告

- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になります。



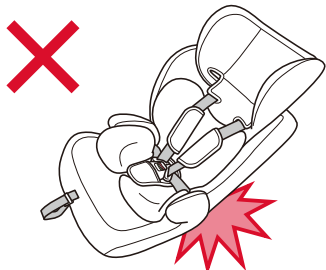
- 本装置を改造したり、部品を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)万一の場合、十分な機能を果たさなくなります。また、インナークッション等は純正のもの以外は使用しないでください。安全を損なうおそれがあります。



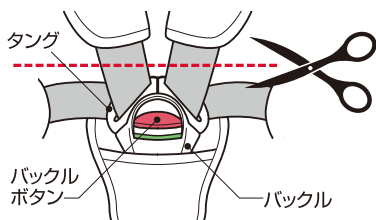
- お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

- 走行前に、本装置が正しく座席に取り付けられているか、取り付けが緩んでいないかを確認してからご使用ください。

- 衝突事故や本装置を落下させたときなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は外見上問題がなくても絶対に使用しないでください。



- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押しても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。

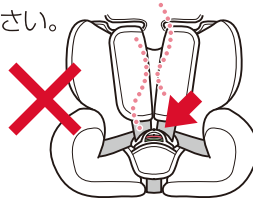


## 注意

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。

- 直射日光が当たったり、夏の日差しの強い日に車内に置いたままにすると、本装置のタングなどが熱くなって、お子様がやけどをするおそれがありますので、日陰に駐車されるか、本装置にカバーをかけて保護してください。



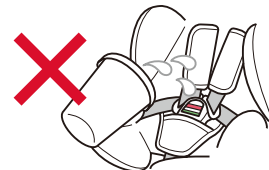
- 本装置を座席の可動部やドアに、挟まないように注意してください。

- 厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトの緩みの原因になるおそれがあります。防寒対策は、ベルトを装着した上からしてください。



- 車両内に傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをする場合があります。

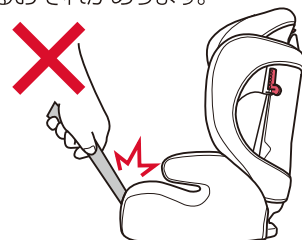
- 本装置のバックルや可動部分に、水・ジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。



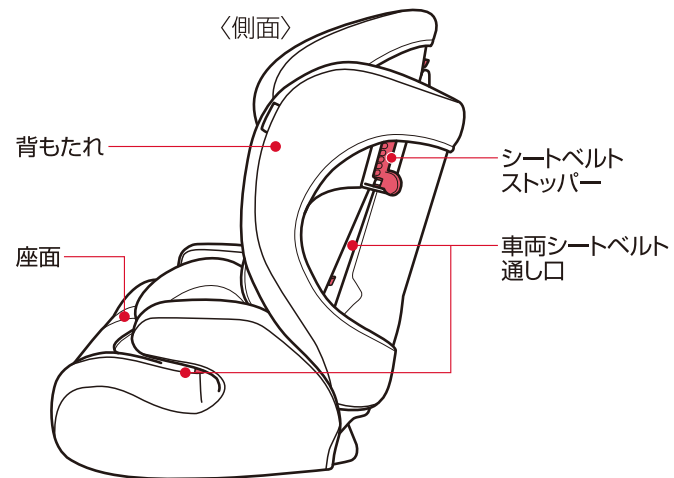
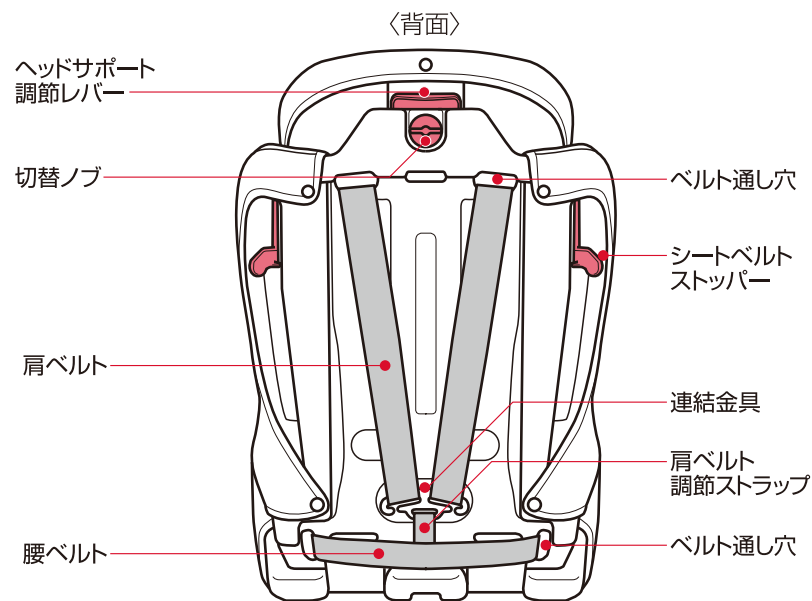
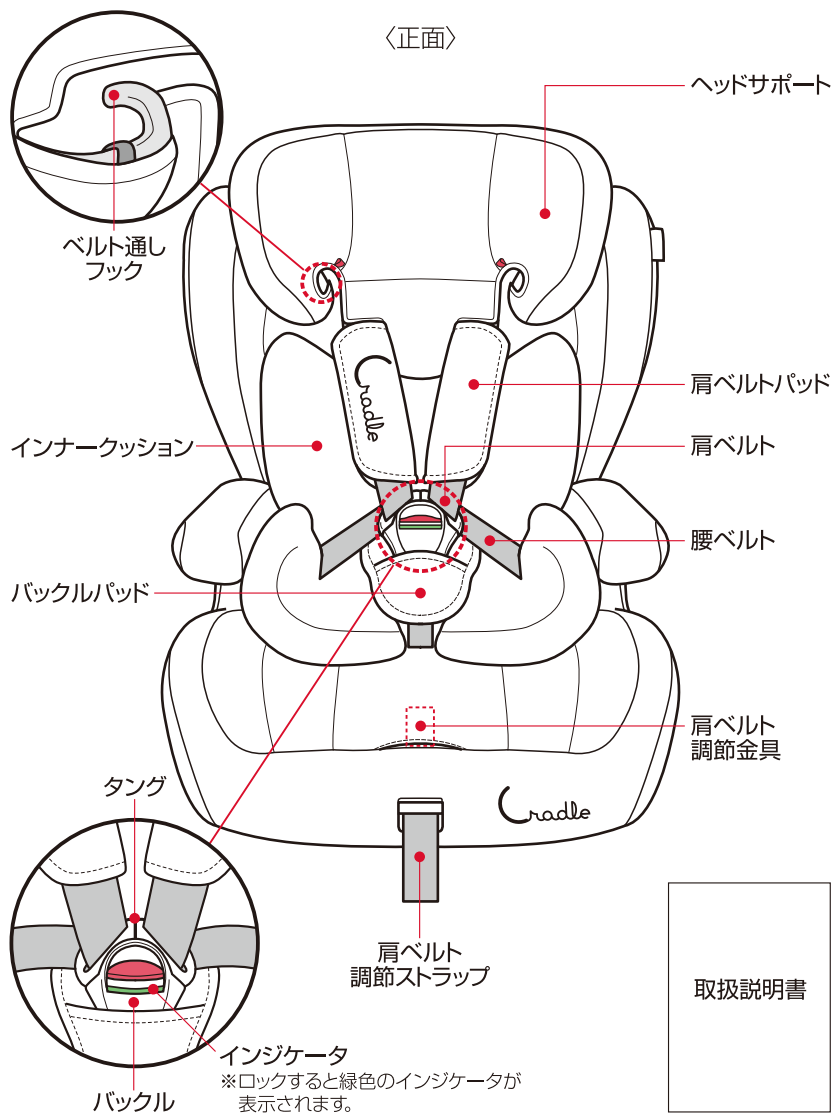
- 本装置を屋外・風雨にさらさないようにしてください。

- 車両の座席にクッションや座布団などを敷いたまま、取り付けしないでください。(保護シートは除く)

- 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



# 各部の名称

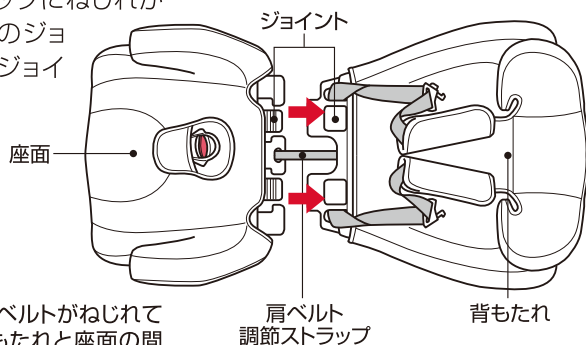




## 組み立て方

1

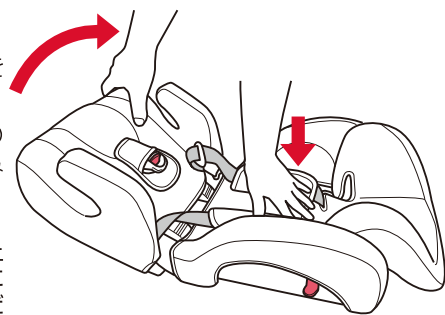
インナークッションを外し、背もたれと座面のジョイントの位置を合わせ、肩ベルト調節ストラップにねじれがないか確認し、座面のジョイントを背もたれのジョイントに差し込みます。



**注意** 背もたれ側のベルトがねじれていないか、背もたれと座面の間に挟まっていないか確認してください。

2

背もたれを軽く押さえながら、座面をゆっくり引き上げます。インナークッションを取り付け、左右のタングを合わせ、バックルに差し込みます。



**注意** 引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実に差し込んでから引き上げてください。無理に引き上げると破損のおそれがあります。

**補足**

組み立てた背もたれと座面は固定されていませんので、倒れやすくなっています。また車両の座席に設置する際、座面と背もたれの接合部に指を挟まないようにご注意ください。



## 各部の使い方

### バックル・タング

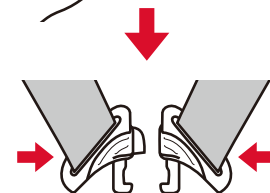
1

バックルパッドを下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。



2

左右のタングを合わせます。バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



※タングがバックルにロックされると、緑色のインジケータが表示されます。

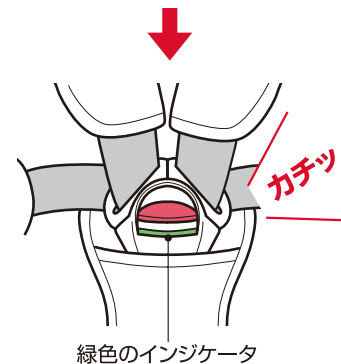


**警告** バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたと、バックルボタンの下に緑色のインジケータが表示されたことを確認してください。

**注意** タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

**補足**

バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。



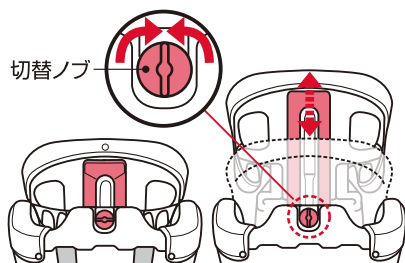
# 各部の使い方

## ヘッドサポート

### ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

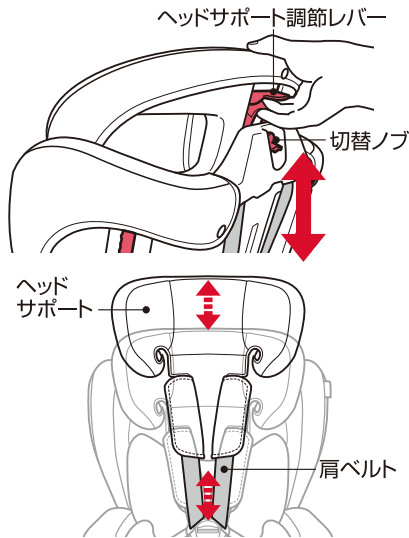
ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。お子様の身体に合った位置に調節してください。

ハイバックシートとしてご使用になる場合は、切替ノブを回して(下図)ヘッドサポートを引き上げてください。



チャイルドシート  
(グループI)

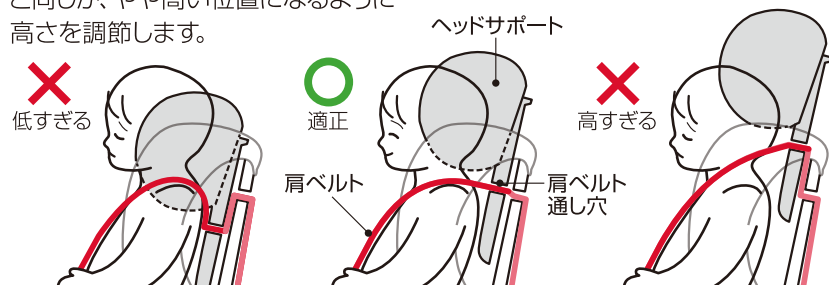
ハイバックシート  
(グループII, III)



**補足** 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節してください。

### ●高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



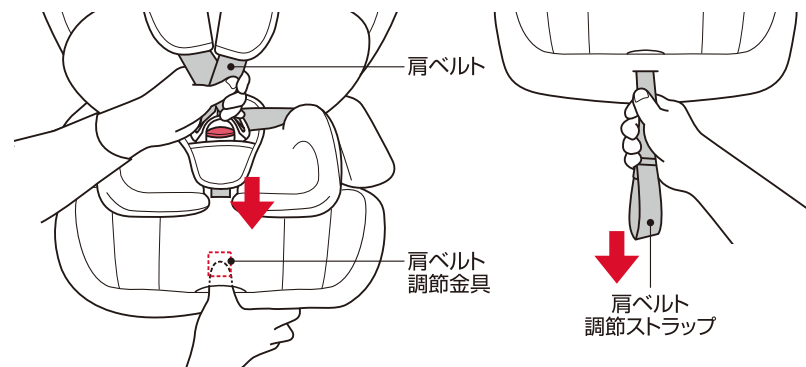
## 肩ベルト

### ●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルトを持って手前に引っ張ります。

### ●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



**注意** 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

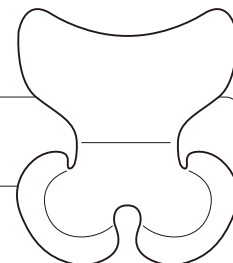
**補足** 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## インナークッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表: ニット生地(柔らかい肌触りです)  
裏: メッシュ生地(通気性に優れています)

●13kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。





# チャイルドシートとしての使い方

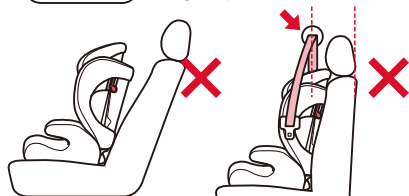
GROUP I...9kg以上18kg以下 ●身長目安:75~100cm以下

## 取り付け方 (後席左側での取り付け例)

1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席が接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

※本装置に車両のヘッドレストが干渉して隙間ができる場合、車両のヘッドレストを上にあげるか取り外してください。車両のヘッドレストが本装置と当たる座席には取り付けできません。



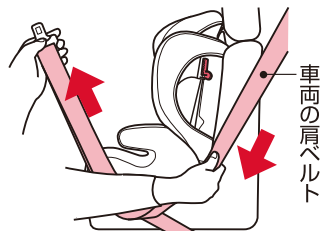
取り付けの際は、座席の背もたれを起こしてください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。



エアバッグ装備の助手席には絶対に取り付けしないでください。

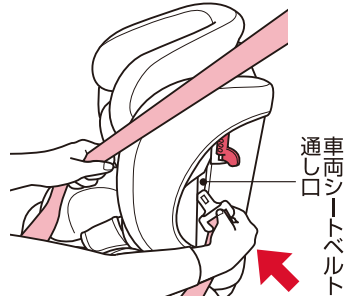
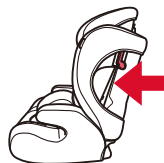
2

車両のシートベルトを、ねじれないようにゆっくり引き出してください。



3

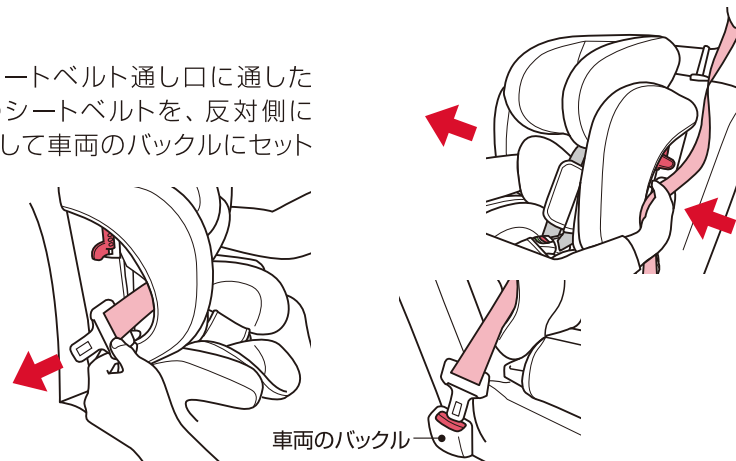
車両シートベルト通し口(本装置の背もたれと本体カバーの間)に、車両のシートベルトを反対側に通します。



## 取り付け方

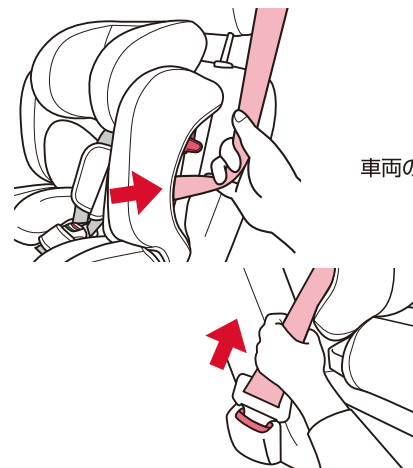
4

車両シートベルト通し口に通した車両のシートベルトを、反対側に引き出して車両のバックルにセットします。

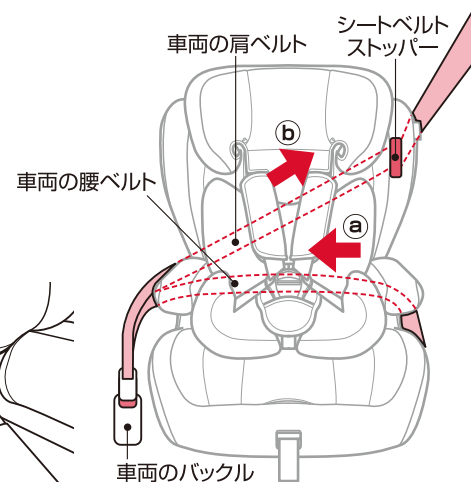


5

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトを緩みをなくします。



車両のバックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



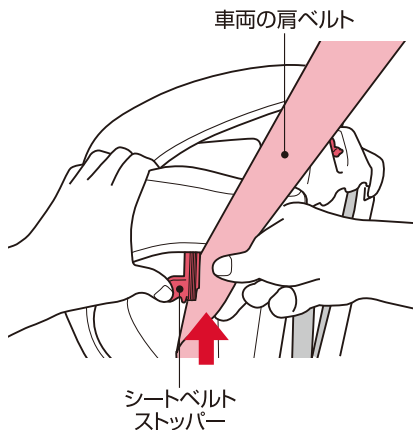
# チャイルドシートとしての使い方

GROUP I...9kg以上18kg以下 ●身長目安:75~100cm以下

## 取り付け方

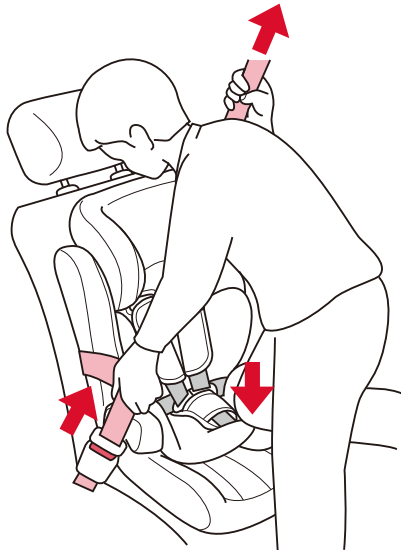
6

車両のシートベルトがピンと張るように巻き戻し、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーで固定してください。



7

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



### 補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調節して、再度取り付けてください。本装置を車両の背もたれに押し付け、ぐらつきがなくしっかり固定されていることを確認してください。

### セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされている。
- 車両のシートベルトに、ねじれや緩みがない。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実に固定してある。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定している。

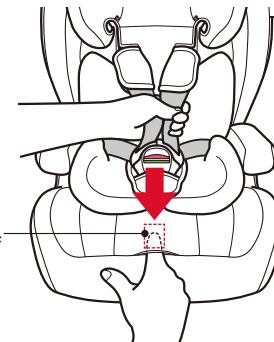


右記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

## お子様の乗せ方

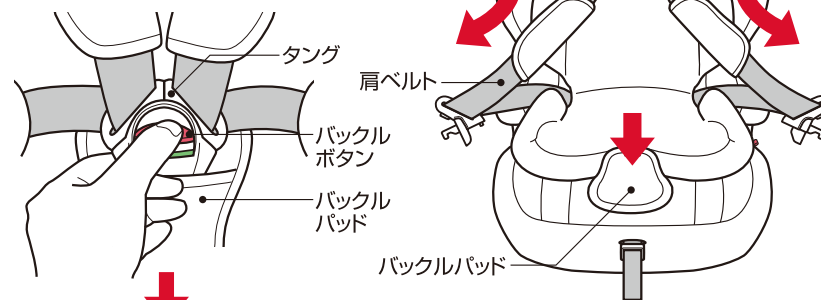
1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。



左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

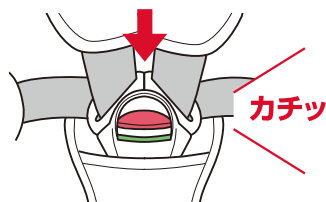
### 補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

## お子様の乗せ方

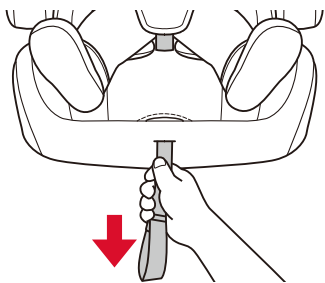
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座させます。  
左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



**警告**

バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたと、確実に固定されていることを確認してください。



**注意**

肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。  
タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。  
肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



**補足**

肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

## お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押して肩ベルトを緩めます。  
バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。  
お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

## ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方

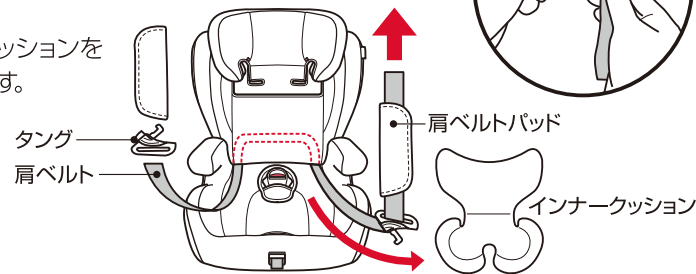
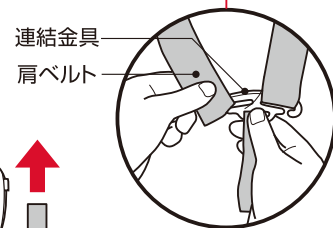
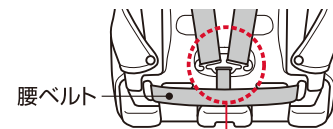
GROUP II,III...15kg以上36kg以下 ●身長目安:95~138cm以下

### ご使用になる前に

肩ベルト・インナークッションを取り外します。

1

本装置の背面にある連結金具から左右の肩ベルトを取り外し、本体表側に引き出します。  
タングをバックルから解除し、肩ベルトから肩ベルトパッド・タングを取り外して、本体から肩・腰ベルトを引き抜きます。  
インナークッションを取り外します。



2

バックルからバックルパッドを取り外し、バックル本体は座面カバー・ウレタンを外し、クッション材下の収納スペースにバックルを収納します。



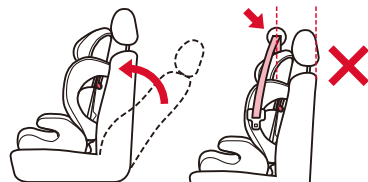
**注意**

肩ベルト調節ストラップは引き抜かず、小さく折りたたんでください。取り外した部品(肩・腰ベルト/肩ベルトパッド/タング/インナークッション/バックルパッド)は大切に保管してください。

## お子様の乗せ方

お子様を乗せる前に、切替ノブを回してください。(P13参照)

1 本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



**注意** 取り付けの際は、座席の背もたれを起こしてください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

2 お子様を深く座らせ、ヘッドサポートをお子様の頭の高さに合わせます。(P13参照) ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



3 車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。タングをバックルに差し込んで本装置を固定します。



4 車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)ください。

バックル タング

〈後席左側取り付けイメージ〉

**注意** お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

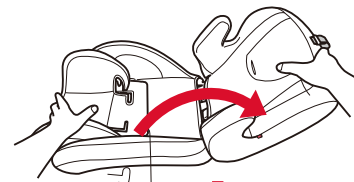
## ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方

GROUP III...22kg以上36kg以下 ●身長目安:110~138cm以下

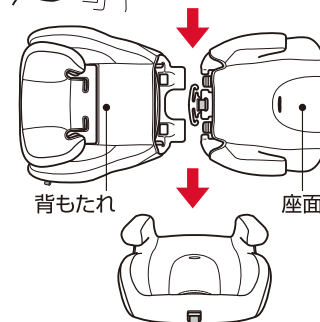
## ご使用になる前に

22kg以上かつ110cm以上のお子様は、背もたれを外して座のみ(ブースター)でもご使用いただけます。

1 背もたれを倒し、座面から背もたれを取り外します。外した背もたれは大切に保管してください。



2 本装置を車両の座席に置き、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。車両の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。倒した状態で使用した場合、衝突時に車両のシートベルトの下からすり抜ける場合があります、たいへん危険です。



※安定しない場合は装着できません。

## お子様の乗せ方

お子様を深く座させます。車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。※車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。



車両の肩ベルトは肩の位置にくるように調節し、タングをバックルに差し込んで本装置を固定してください。

バックル タング

〈後席左側取り付けイメージ〉

**注意** 車両の肩ベルトが、お子様の首に掛からないように注意してください。身長が低くて首に掛かる場合は、背もたれ付(ハイバックシート)でご使用ください。

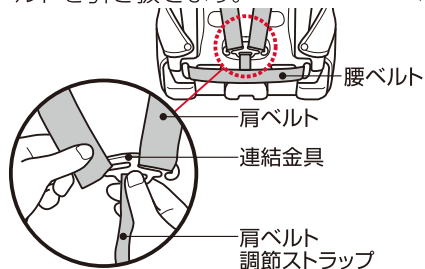
お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

# お手入れのしかた

## 取り外し方

### ●肩・腰ベルトを外す

本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外し、本体から肩・腰ベルトを引き抜きます。



**注意** 肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

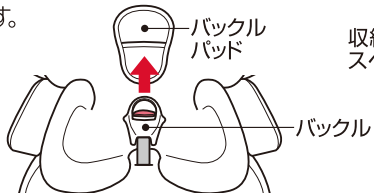
### ●ヘッドサポートカバーを外す

スナップボタンを外して、ヘッドサポートカバーを外します。



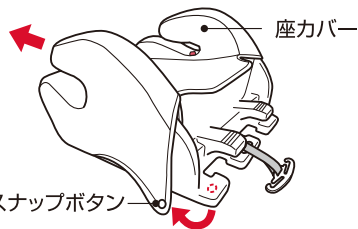
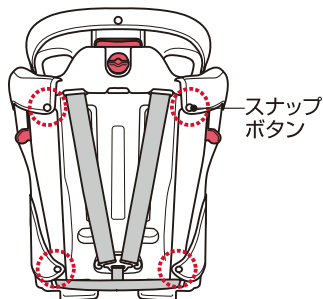
### ●バックルパッドを外す

バックルパッドを、バックルから引き抜きます。



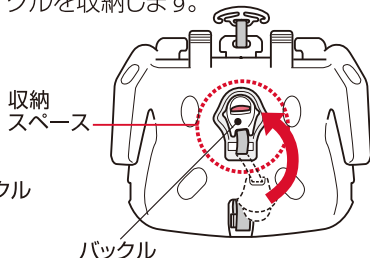
### ●背・座カバーを外す

背カバーは背面のスナップボタンを外し、座カバーは座面裏側のスナップボタンを外して取り外します。



### ●バックルを収納する

ウレタンの中の収納スペースに、バックルを収納します。



## 取り付け方

### ●ヘッドサポートカバーを取り付ける

ヘッドサポートカバーを取り付け、スナップボタンで固定します。

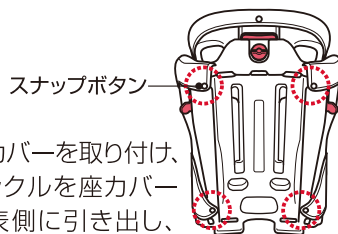


### ●バックルを取り出す

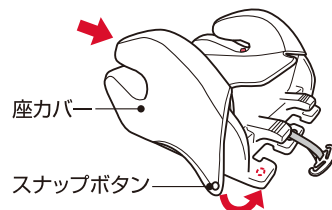
座面のウレタンの中の収納スペースよりバックルを取り出します。

### ●背・座カバーを取り付ける

背カバーを取り付け、背面のスナップボタンを付けて固定します。

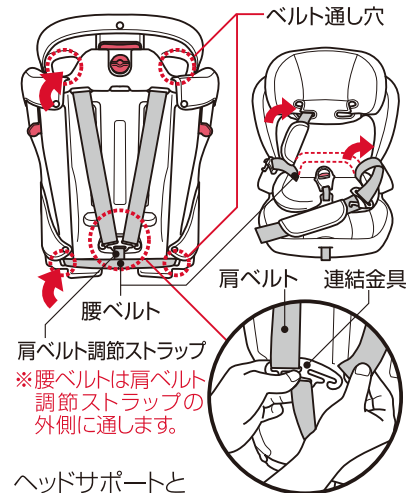


座カバーを取り付け、バックルを座カバーの表側に引き出し、スナップボタンを付けて固定します。



### ●肩・腰ベルトを取り付ける

背面から下側のベルト通し穴に肩・腰ベルトを通し、正面に引き出した肩・腰ベルトにタング・肩ベルトパッドを通します。

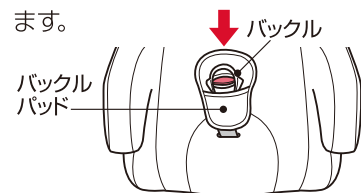


肩ベルト調節ストラップ  
※腰ベルトは肩ベルト調節ストラップの外側に通します。

ヘッドサポートと本体のベルト通し穴(背面から上側)の位置を合わせて肩ベルトを通し、連結金具に取り付けます。

### ●バックルパッドを取り付ける

バックルにバックルパッドを取り付けます。

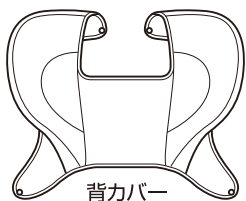




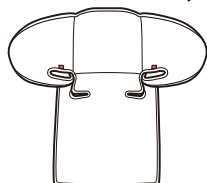
# お手入れのしかた

## カバー・パッド・クッション

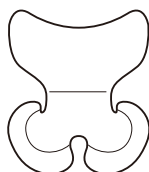
- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。



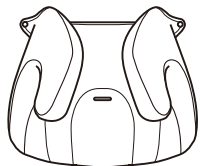
背カバー



ヘッドサポートカバー



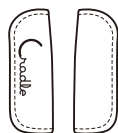
インナークッション



座カバー



バックルパッド



肩ベルトパッド

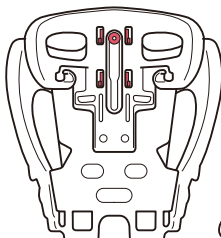


## 本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タンクに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



肩ベルト調節ストラップ



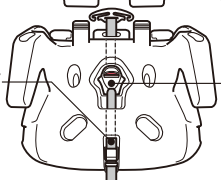
本体 (背もたれ)



バックル



肩・腰ベルト



本体(座面)



クッション材



ウレタン



肩ベルト調節ストラップとバックルは、本体から取り外さないでください。

## 保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げになった日より1年間です。
- ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証いたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
  - フレートおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
  - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
  - 保証書および販売証明書のご提示がない場合。
  - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
  - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
  - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
  - 縫製部品の傷ややぶれ、変色。
  - 有償修理時に要する送料費。
  - 部品の紛失。
- ④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ご購入時、ご購入後保証書に記載してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げにされたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。  
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。  
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

## 保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちにご記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名		クレイドル ハーネスジュニアII		お買い上げ年月日		年 月 日		故障内容記入欄
保証期間		お買い上げ日より1年間						
お客様	お名前	TEL						
	ご住所							
販売店	店名	TEL						
	住所							

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報は、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することとは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ※品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。